

# 「しみず自治協」準備会だより

発行：清水地区自治協議会設立準備会（清水地区公民館内 ☎76-7333）

## ☆☆ 大規模災害に学ぶ ☆☆ ～災害に対する備えは大丈夫ですか？～



大規模災害に学ぶと題して11月5日(土)午後5時から、総合教育センター2階研修室で、前佐世保市防災危機管理局長で現在日宇地区公民館館長の福田 憲一氏を講師としてお迎えし防災講演会を開催しました。

福田氏は前職時代に「雲仙普賢岳噴火災害」や「阪神淡路大震災」、  
「東日本大震災」など

日本中を震撼させた大災害の現場に派遣され救助活動にあたられた貴重な経験をお持ちです。その実体験をもとに被災地の凄惨な状況や救助活動の困難さを、スライドを使ってわかりやすく解説していただきました。

特に阪神淡路大震災の時には、生き埋めや閉じ込められた方を救助隊が救えたのはわずか1.7%に

すぎず、自分や家族、友人、隣人による救出が95%を占めたという実例をもとに、行政の対応には限界があり、住民相互（向こう三軒両隣）の助け合いが必要で、そのためには、◎日頃の付き合い助け合い、◎自主防災組織の結成、◎事前の訓練など地域の防災力向上が「命を守る」ために重要になってくる。

また、大災害だけでなく、今後ともこの地域で容易に起こりうる災害（大雨、台風被害、崖崩れ等）に対応するためにも、平素から事前の準備がとても大切であり、地域コミュニティがとても重要になると講演いただきました。（裏面へ続く）



災害は「まさか!」ではなく、  
「きたか!」と言える  
(平素からの)備えが重要!



今後も「防災・減災」は益々重要になってくる課題であり、コミュニティを考える有効な切り口の1つとして取り組んで行きたいと考えています。今回は大規模災害を例に極限状態を考えてみましたが、今後は、この地区で起こりやすい災害を想定して図上（想定）訓練や避難訓練など有効な取り組みが清水地区自治協議会の担当部会を中心に検討・実施されてゆく予定です。

### ◎ 第 5 回・第 6 回目の設立準備会を開催しました

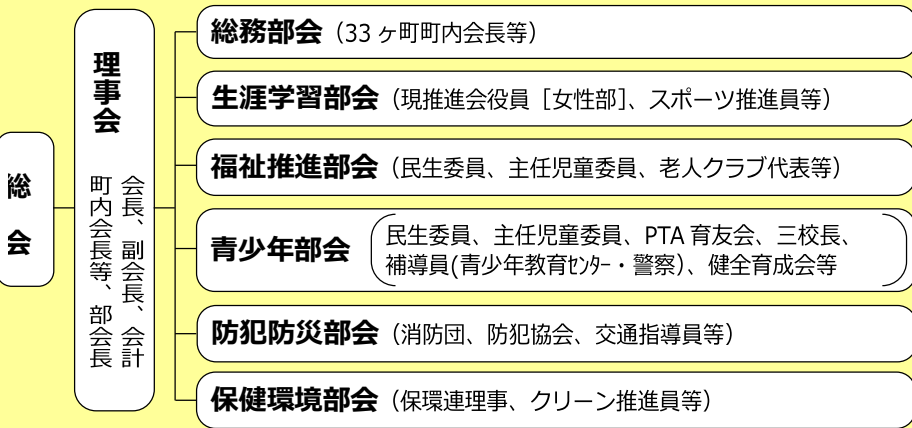
10月20日（木）と11月21日（月）午後7時から設立準備会を開催しました。

### 地域コミュニティ計画(案)について

前回準備会だよりでお知らせした地域コミュニティ計画案中「まちづくりの目標」のうち「…夢を育むまちづくり」の枕の部分事務局提案で「資源を活かし夢を育むまちづくり」としていましたが、第5回設立準備会で表現が硬いなどの意見があり再検討の結果「ふるさとの夢を育むまちづくり」と変更しました。



### 【地区自治協議会組織構成（素案）】



### 自治協議会組織構成について

どんな部会を作るか？どんな人を選任するか？どんな活動を行うか？等々、自治協議会の組織構成はまさに屋台骨であるため、町内会長さん等と一緒に協議する必要があると、2回の準備会で左のように素案を作成し、12月20日(火)午後7時から総合教育センターで合同会議を開催することになりました。

### 【編集後記】

「正常化の偏見」…悪いことは起きない、このまま正常な状態が続いてゆく…人間の心理として自然にそう思うてしまうと言われている。地震・津波・噴火など無縁で安全な街「佐世保」に住んでいるから大丈夫！たとえ災害が起きて自分だけは絶対大丈夫と根拠のない自信にタカをくくっていないか？大津波は来ないかもしれないけど、異常気象が進むほど巨大台風や集中豪雨で河川の氾濫、土砂崩れなど災害は大規模になり、高齢化・地域の絆の形骸化が進むほど避難・救助の困難さは増大していく。避けて通れない現実を「偏見」ではなく真正面から見据えたいものだ（研）

